

一般社団法人 薬学教育評価機構

<平成 25 年度>

事業報告書・決算報告書・監査報告書

一般社団法人 薬学教育評価機構
平成 25 年度 事業報告書
(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

1. 本機構の組織体制の構築に関連する取組みについて

1) 第 1 回理事会 (平成 25 年 5 月 23 日) において下記の事項が協議され、承認された。

(1) ～ (3) については、社員総会に諮られた。

- (1) 平成 24 年度事業報告案および決算報告案
- (2) 平成 25 年度事業計画案および収支予算案
- (3) 役員改選に伴う理事会推薦役員案
- (4) 臨時研究員の増員について
- (5) 総合評価評議員の謝金について
- (6) 国際対応委員会の設置
- (7) 個人情報取扱事業者保険加入について

2) 定時社員総会 (平成 25 年 6 月 27 日) において下記の事項が審議され、異議なく承認された。

- (1) 平成 24 年度事業報告案および決算報告案
- (2) 平成 25 年度事業計画案および収支予算案
- (3) 任期満了による役員の改選が行われ、下記の役員が決定した (定款 24 条、役員規則第 3 条)。

理事 (平成 25 年 6 月～27 年度 6 月まで)

大学：井上圭三、市川 厚、乾 賢一、奥 直人、桐野 豊、杉浦幸雄、西島正弘

団体：北田光一、児玉 孝、柴崎正勝

有識者：寺尾允男、豊島 聰、樋口 駿

監事

小池啓三郎、村瀬清志

3) 第 2 回理事会 (メール会議、平成 25 年 6 月 27 日) において、以下について決議した。

平成 25 年度の社員総会における役員の改選に伴い、役員規則第 4 条 (代表理事の選任) に従い、井上圭三理事を代表理事とすることが、市川 厚理事から提案され、異議なく承認された。

4) 第 1 回運営委員会 (平成 26 年 1 月 20 日) において、下記の事項について協議し、理事会に諮ることとした。

- (1) 平成 26 年度事業計画案および収支予算について

- (2) 総合評価評議員の任期満了に伴う候補者の選出
- (3) 評価者研修委員会の改組について
- (4) 異議審査委員会委員候補者の選出
- (5) 本機構就業規則について

5) 第3回理事会（平成26年1月29日）

- (1) 平成26年度事業計画案および収支予算案について
- (2) 総合評価評議員の任期満了に伴う候補者の選任

内山 充氏および西野武志氏が辞退されたので、山口政俊（福岡大学）、吉田武美（薬剤師認定制度認証機構）の両氏を選任した。16名の評議員定数の内、新任の2名以外の14名は、継続を委任することとした。（評価事業基本規則第14条）

- (3) 評価者研修委員会について

理事会の下にある標記委員会を評価者は評価委員会が選任するので、評価委員会の下に設置することにした。

- (4) 異議審査委員会委員・予備委員候補者の選出

委員6名、予備委員4名の候補者を選出し、総合評価評議会に諮ることとした。

6) 国際対応委員会（平成25年5月21日、平成26年2月28日）

標記委員会の目的と役割を決め、当面の作業として、海外の薬学教育の情報収集および本機構の情報発信の手始めとして、本機構の「評価基準」の英語訳を作成することとした。また、International Pharmaceutical Federation (FIP) への出席補助を決めた。

2. 評価事業に関連する取組みについて

- 1) 第1回総合評価評議会（平成25年5月17日、メール会議）

第2回総合評価評議会（平成26年3月3日）

- (1) 評価委員会委員の増員について

平成26年度以降、第三者評価対象校が、現在の3校から10校・13校と増えていくと、評価委員が評価チームの主査を兼ねる体制が、人数不足から保てなくなるため、現委員数16名を21名とすることが承諾された。

新委員	岩手医科大学薬学部	大橋	綾子
	大阪薬科大学	辻坊	裕
	昭和薬科大学薬学部	戸田	潤
	帝京大学薬学部	栗原	順一
	新潟薬科大学薬学部	杉原	多公通

(2) 平成 25 年度評価申請大学の第三者評価の委託について

次の 3 大学から「薬学教育評価申請書」が提出され、総合評価評議会で専門分野別評価を受託した。

- ・ 岡山大学
- ・ 福山大学
- ・ 日本薬科大学

(3) 平成 26、27 年度の「総合評価評議会」の議長は、評議員の互選によって選任される。(評価事業基本規則第 10 条) 互選により、太田 茂氏が選出された。

(4) 平成 26、27 年度評価関連委員会委員の選任について

- ① 評価委員会：標記について、評価事業基本規則第 21 条に基づき選出された委員について審議し、異議なく下記の選出候補者の選任が認められた。

継続候補者：大橋綾子、小澤孝一郎、笠井秀一、栗原順一、佐々木 均、首藤英利、杉原多公通、須田晃治、高橋眞理、辻坊 裕、戸田 潤、永田泰造、橋本孝志、平田收正、本間 浩、山田清文、山田 勉、吉田雄三

新規候補者：阿部芳廣（慶應義塾大学）、加留部善晴（福岡大学）、吉富博則（福山大学）

委員長：平田收正

副委員長：小澤孝一郎、栗原順一、本間 浩（評価事業基本規則第 23 条）

- ② 基準・要綱検討委員会は、現委員の継続となった。

- ③ 異議審査委員会：評価事業基本規則第 55 条に基づき予備委員が選任された。

委員長：永井博弼（岐阜保健短期大学）

予備委員：入江徹美（熊本大学）、勝野眞吾（岐阜薬科大学）桐野 豊（徳島文理大学）、中村明弘（昭和大学）、藤原英憲（日本薬剤師会）、平井みどり（日本病院薬剤師会）、松原和夫（日本病院薬剤師会）山元 弘（神戸学院大学）、吉川貴士（同志社大学）

(5) 平成 25 年度「評価報告書」の確定

岡山大学薬学部薬学科、福山大学薬学部薬学科、日本薬科大学薬学部薬学科の最終「評価報告書」を 3 月 3 日に決定し、理事長に報告するとともに 3 大学に送付した。

(6) 異議申立て

3 月 25 日付で日本薬科大学から異議申立てが理事長宛に提出された。

2) 評価チームおよび評価委員会

岡山大学、日本薬科大学、福山大学の本評価を以下のプロセスで実施した。

- (1) 1 チーム 5 名とした 3 チームを編成し、主査・副査を決め、評価実施員 15 名のための説明会（平成 25 年 4 月 12、15 日）を実施した。

- (2) 3 大学から提出された「自己点検・評価書」に基づき、6 月から評価実施員によ

る書面調査が開始された。

(3) 評価チーム会議

書面調査後に2回開催し、「評価チーム報告書案」を作成し、3大学に送付した。その後、訪問調査(2泊3日)を行った。訪問調査後、チーム会議を開催して、「評価チーム報告書」を決定し、評価委員会に提出した。

(4) 評価委員会 計6回開催した。

① 第1回評価委員会(メール会議、平成25年4月19日)

- ・評価委員の増員についての報告

② 第2回評価委員会(平成25年6月26日)

- ・評価対象大学に利害関係のある評価関連委員会委員の利益相反について
- ・評価者用チェックシートの開示
- ・評価委員の評価管理システムへのアクセスについて
- ・個人情報取扱事業者保険加入
- ・評価実施員のためのガイドライン

③ 第3回評価委員会(平成26年9月10日)

- ・平成25年度幹事の選出
- ・3大学の評価チーム

8月に大学へ送付済の「評価チーム報告書案」と、9月上旬に大学から提出された「評価チーム報告書案に対する確認および質問事項への回答」を踏まえ、共通認識が必要な問題点の検討を行った。

④ 第4回評価委員会(平成25年12月25日)

- ・平成26年度の評価実施員候補とチーム編成について
- ・平成25年度本評価「評価報告書(委員長案)」の検討
幹事会にて作成した3大学の「評価報告書(委員長案)」を検討し、評価委員会の総意として「評価報告書(委員会案)」を作成、3大学へ送付し、意見申立てを受けた。

⑤ 第5回評価委員会(平成26年2月7日)

- ・意見申立ての採否の検討と大学への「回答書」を作成

⑥ 第6回評価委員会(平成26年2月17日)

- ・意見申立書に対する回答書の決定、大学に送付した。
- ・評価報告書(原案)の作成
- ・平成26年度の評価実施員の選出について
- ・評価者研修会の管轄について

3. 評価者研修会について

1) 評価者研修会開催

①第5回（平成25年度第1回）評価者研修会が実施された。

日程：平成25年8月31日、9月1日

場所：クロスウェーブ府中

参加者：評価実施員候補者36名、コンサルタント1名、タスク8名、事務局員4名

②第6回（平成25年度第2回）評価者研修会が実施された。

日程：平成26年1月11日、12日

場所：クロスウェーブ府中

参加者：評価実施員候補者43名、コンサルタント1名、タスク10名、事務局員5名

③ 評価者研修のための資料の作成

評価者研修会での「模擬評価」で用いる「自己点検・評価書」および「基礎資料」等について、評価対象大学（渋谷薬科大学）を仮想設定し、作成した。

4. 評価管理システムソフトの構築

本評価に向けて、評価管理システムを構築し、本評価に使用した。本システムは、使用しながら、手直しをすることとした。

5. 平成26年度版「薬学教育評価ハンドブック」の作成

前年度版の手直し後、関係各位に配布した。

6. 学会報告

以下の2学会からの依頼により、講演を行った。

- ・日本医学教育学会公開シンポジウム

2013年7月28日 千葉大学

「患者さんの役に立つ薬剤師養成に貢献できる評価を目指して」

発表者：小林静子

- ・日本獣医学会学術集会

2013年9月22日 岐阜大学

「患者さんの役に立つ薬剤師養成に貢献できる評価を目指して」

発表者：戸部 徹

以上

決算報告書

自 平成25年 4月 1日
至 平成26年 3月31日

一般社団法人薬学教育評価機構

東京都渋谷区渋谷2-12-15
日本薬学会長井記念館1階

貸借対照表

平成26年 3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	50,414,193	38,571,016	11,843,177
未 収 入 金	48,688	0	48,688
貯 蔵 品	506,515	518,942	△ 12,427
立 替 金	6,169	0	6,169
前 払 費 用	752,543	731,639	20,904
流動資産合計	51,728,108	39,821,597	11,906,511
2. 固定資産			
(3) その他固定資産			
建 物 付 属 設 備	228,474	253,149	△ 24,675
工 具 器 具 備 品	1,106,042	1,635,860	△ 529,818
ソ フ ト ウ エ ア 金	2,898,000	3,654,000	△ 756,000
敷 金	618,930	618,930	0
その他固定資産合計	4,851,446	6,161,939	△ 1,310,493
固定資産合計	4,851,446	6,161,939	△ 1,310,493
資産合計	56,579,554	45,983,536	10,596,018
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	581,155	395,372	185,783
預 り 金 等	190,289	305,117	△ 114,828
未 払 法 人 税	70,000	0	70,000
流動負債合計	841,444	700,489	140,955
負債合計	841,444	700,489	140,955
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	55,738,110	45,283,047	10,455,063
正味財産合計	55,738,110	45,283,047	10,455,063
負債及び正味財産合計	56,579,554	45,983,536	10,596,018

正味財産増減計算書

平成25年 4月 1日から平成26年 3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会費収入	[61,700,000]	[46,300,000]	[15,400,000]
事業収入	[9,450,000]	[0]	[9,450,000]
雑収入	[11,960]	[9,043]	[2,917]
受取利息	9,020	9,043	△ 23
雑収入	2,940	0	2,940
経常収益計	71,161,960	46,309,043	24,852,917
(2) 経常費用			0
人事費	[33,761,770]	[24,631,969]	[9,129,801]
人件費	(10,339,814)	(15,239,642)	(△ 4,899,828)
給与	8,647,500	10,668,980	△ 2,021,480
法定福利厚生費	1,187,334	1,574,613	△ 387,279
福利厚生費	31,500	15,750	15,750
旅費	0	1,334,109	△ 1,334,109
委員会議交通費	473,480	1,646,190	△ 1,172,710
委員会議交通費	(117,010)	(4,303,723)	(△ 4,186,713)
旅費	0	181,818	△ 181,818
通信用料	5,640	2,719,320	△ 2,713,680
手数料	0	0	0
委託費	0	35,490	△ 35,490
評価者研修関連費	111,370	1,367,095	△ 1,255,725
評価者研修関連研修会開催費	(5,791,961)	(2,811,071)	(2,980,890)
評価者研修会資料作成費	3,394,821	2,600,169	794,652
評価者研修会交通費	21,000	210,902	△ 189,902
評価者研修会交通費	2,376,140	0	2,376,140
広報関連費	(904,877)	(2,277,533)	(△ 1,372,656)
印刷費	788,051	884,181	△ 96,130
ホームページ関連費	0	292,950	△ 292,950
パンフレット	94,826	836,322	△ 741,496
広報費	22,000	264,080	△ 242,080
評価システム関連費	(706,881)	(0)	(706,881)
評価システム	706,881	0	706,881
本評価関連費	(14,848,209)	(0)	(14,848,209)
特別研究員謝金	4,009,320	0	4,009,320
特別研究員交通費	1,494,440	0	1,494,440
旅費	4,986,236	0	4,986,236
会議費	928,066	0	928,066
評価者謝金	2,516,962	0	2,516,962
システム管理費	913,185	0	913,185
手数料	(1,053,018)	(0)	1,053,018
管理費	[26,945,127]	[21,761,086]	[5,184,041]
人件費	(9,545,278)	(9,449,620)	(95,658)
給与	8,156,800	8,054,400	102,400
法定福利厚生費	1,045,208	1,090,150	△ 44,942
福利厚生費	15,750	15,750	0
旅費	327,520	289,320	38,200
委員会議交通費	(1,105,405)	(0)	(1,105,405)
旅費	982,030	0	982,030
会議費	123,375	0	123,375
事務費	(16,294,444)	(12,311,466)	(3,982,978)
賃借料	8,149,668	8,149,668	0
水道光熱費	308,822	220,925	87,897
通信費	633,117	597,847	35,270
印刷費	2,374,595	734,229	1,640,366
消耗品費	2,159,362	269,027	1,890,335
新聞図書費	58,880	53,055	5,825

科 目	当年度	前年度	増 減
渉 外 費	64,500	59,905	4,595
手 外 料	174,325	88,410	85,915
謝 数 金	842,250	869,550	△ 27,300
減 価 却 費	1,310,493	1,111,908	198,585
租 税 公 課	118,432	120,908	△ 2,476
保 險 料	30,000	0	30,000
雑 損 失	0	36,034	△ 36,034
法人税、住民税及び事業税	70,000	0	70,000
経常費用計	60,706,897	46,393,055	14,313,842
評価損益等調整前当期計上増減額	10,455,063	△ 84,012	10,539,075
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	10,455,063	△ 84,012	10,539,075
1. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	10,455,063	△ 84,012	10,539,075
当期一般正味財産増減額	10,455,063	△ 84,012	10,539,075
一般正味財産期首残高	45,283,047	45,367,059	△ 84,012
一般正味財産期末残高	55,738,110	45,283,047	10,455,063
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	55,738,110	45,283,047	10,455,063

予算対比正味財産増減計算書

平成25年 4月 1日から平成26年 3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会費収入	[61,700,000]	[61,700,000]	[0]
事業収入	[9,450,000]	[9,450,000]	[0]
雑収入	[0]	[11,960]	[△ 11,960]
受取利息	0	9,020	△ 9,020
雑収入	0	2,940	△ 2,940
経常収益計	71,150,000	71,161,960	△ 11,960
(2) 経常費用			
人事費	[43,488,730]	[33,761,770]	[9,726,960]
人件費	(15,672,730)	(10,339,814)	(5,332,916)
給与手当	13,100,000	8,647,500	4,452,500
法定福利金	1,965,000	1,187,334	777,666
旅費交通費	47,250	31,500	15,750
謝金	560,480	473,480	87,000
委員会議費	0	0	0
会費	(1,000,000)	(117,010)	(882,990)
旅費	50,000	0	50,000
委員謝金	650,000	5,640	644,360
研修費	300,000	111,370	188,630
研修関係費	(7,200,000)	(5,791,961)	(1,408,039)
研修会開催費	7,000,000	5,770,961	1,229,039
研修料	200,000	21,000	179,000
印刷費	(900,000)	(904,877)	(△ 4,877)
ホームページ制作費	800,000	788,051	11,949
ホームページ制作費	0	0	0
印刷費	0	94,826	△ 94,826
報告費	100,000	22,000	78,000
関係費	(600,000)	(706,881)	(△ 106,881)
関係費	600,000	706,881	△ 106,881
関係費	(17,360,000)	(14,848,209)	(2,511,791)
特別研究員謝金	3,600,000	4,009,320	△ 409,320
特別研究員交通費	1,500,000	1,494,440	5,560
旅費	7,030,000	4,986,236	2,043,764
会議費	170,000	928,066	△ 758,066
評価者謝金	3,260,000	2,516,962	743,038
システム管理費	1,000,000	913,185	86,815
通信費	800,000	0	800,000
手数料	0	1,053,018	△ 1,053,018
償却費	756,000	0	756,000
管理費	[25,395,993]	[26,945,127]	[△ 1,549,134]
人件費	(9,731,500)	(9,545,278)	(186,222)
給与手当	8,000,000	8,156,800	△ 156,800
法定福利金	1,200,000	1,045,208	154,792
旅費	31,500	15,750	15,750
委員会議費	500,000	327,520	172,480
会費	(2,210,000)	(1,105,405)	(1,104,595)
旅費	2,100,000	982,030	1,117,970
事務費	110,000	123,375	△ 13,375
借料	(13,454,493)	(16,294,444)	(△ 2,839,951)
水道料	8,150,000	8,149,668	332
通信費	200,000	308,822	△ 108,822
印刷費	600,000	633,117	△ 33,117
消耗品費	1,200,000	2,374,595	△ 1,174,595
新聞費	1,200,000	2,159,362	△ 959,362
図書費	50,000	58,880	△ 8,880
渉外費	100,000	64,500	35,500
手数料	200,000	174,325	25,675
謝金	1,000,000	842,250	157,750
償却費	554,493	1,310,493	△ 756,000
租税公課	200,000	118,432	81,568

科 目	予算額	決算額	増 減
保 険 料	0	30,000	△ 30,000
法人税、住民税及び事業税	0	70,000	△ 70,000
経常費用計	68,884,723	60,706,897	8,177,826
評価損益等調整前当期計上増減額	2,265,277	10,455,063	△ 8,189,786
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	2,265,277	10,455,063	△ 8,189,786
1. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	2,265,277	10,455,063	△ 8,189,786
当期一般正味財産増減額	2,265,277	10,455,063	△ 8,189,786
一般正味財産期首残高	45,283,047	45,283,047	0
一般正味財産期末残高	47,548,324	55,738,110	△ 8,189,786
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	47,548,324	55,738,110	△ 8,189,786

財産目録
平成26年3月31日現在

一般会計

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金		手元保管	運転資金として	154,410
現金 計				154,410
預金		普通預金	三菱東京UFJ銀行渋谷明治通支店	20,182,937
預金		定期預金	三菱東京UFJ銀行渋谷明治通支店	30,076,846
預金 計				50,259,783
未収入金			社会保険料未徴収額	48,688
未収入金 計				48,688
貯蔵品		@656×5冊	平成20年度活動報告書	3,280
貯蔵品		@1,260×6冊	平成21年度活動報告書	7,560
貯蔵品		@1,016.93×5冊	平成23年度活動報告書	5,085
貯蔵品		@850.50×55冊	平成24年度活動報告書	46,778
貯蔵品		@110×8冊	高校生のための6年制薬学ガイド2011	880
貯蔵品		@110×8冊	高校生のための6年制薬学ガイド2012	880
貯蔵品		@110×8冊	高校生のための6年制薬学ガイド2013	880
貯蔵品		@110×209冊	高校生のための6年制薬学ガイド2014	22,990
貯蔵品		@462×5冊	自社パンフレット改訂前Ver.	2,310
貯蔵品		@191.92×718冊	自社パンフレット改訂後Ver.	137,799
貯蔵品		@1,134×5冊	薬学教育評価ハンドブック1刷	5,670
貯蔵品		@910×4冊	薬学教育評価ハンドブック2刷	3,640
貯蔵品		@488.25×128冊	薬学教育評価ハンドブック平成25年度版	62,496
貯蔵品		@530.25×389冊	薬学教育評価ハンドブック平成26年度版	206,267
貯蔵品 計				506,515
立替金			雇用保険従業員負担分立替払い	6,169
立替金 計				6,169
前払費用		本社	事務所4月分賃料	698,543
前払費用		本社	駐車場4月分賃料	54,000
前払費用 計				752,543
流動資産合計				51,728,108
(固定資産)				
その他固定資産				
建物付属設備		本社	電気設備工事(回路配線工事)	228,473
建物付属設備		本社	パーティション(可動)	1
建物付属設備 計				228,474
工具器具備品		本社	キャビネット(UFX収納)	505,540
工具器具備品		本社	電話設備(NTT αGX/S)	327,977
工具器具備品		本社	組込み型耐火火庫	272,519
工具器具備品		本社	その他	6
工具器具備品 計				1,106,042
ソフトウェア		本社	業務管理ソフト・データベース	2,898,000
ソフトウェア 計				2,898,000
敷金		本社	事務所	468,930
敷金		本社	駐車場	150,000
敷金 計				618,930
固定資産合計				4,851,446
資産合計				56,579,554
(流動負債)				
未払金			3月分人材派遣料	196,221
未払金			3月分コピー機パフォーマンスチャージ	156,108
未払金			3月分社会保険料の事業主負担分	144,870
未払金			3月分メール便代	29,280
未払金			3月分電話代	21,875
未払金			3月分電気料金	19,828
未払金			3月分備品購入代	12,973
未払金 計				581,155
預り金			給与・報酬に対する源泉所得税	151,789
預り金			従業員の住民税	38,500
預り金 計				190,289
未払法人税等				70,000
未払法人税等 計				70,000
流動負債合計				841,444
負債合計				841,444
正味財産				55,738,110
負債及び正味財産合計				56,579,554

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
個別法による原価法を採用しております。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
法人税法の規定に基づく定額法を採用しております。
取得価額30万円未満の資産については、取得時に費用処理しております。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

3. 会計方針の変更

該当なし

4. 担保に供している資産

該当なし

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	1,531,082	1,302,608	228,474
工具器具備品	7,420,728	6,314,686	1,106,042
ソフトウェア	3,780,000	882,000	2,898,000
合 計	12,731,810	8,499,294	4,232,516

6. 保証債務等の偶発債務

該当なし

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし

9. 関連当事者との取引の内容

該当なし

10. 重要な後発事象

該当なし

11. その他法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項

該当なし

以上

監査報告書

平成 26 年 5 月 28 日

一般社団法人 薬学教育評価機構

理事長 井上圭三 殿

一般社団法人 薬学教育評価機構

監事 小池啓三郎



監事 村瀬清志



私たちは平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの平成 25 年度における一般社団法人薬学教育評価機構の会計および業務の監査を行い、その結果を報告します。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査については、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会に出席し、理事からの報告を聴取し、関係書類の閲覧などを行い、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査の結果

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致、法人の財政状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告の内容は、事実に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。

以上